

多摩市の街並み共有プロジェクト～Google ストリートビューを活用した遊歩道・公園の丸見え化～

応募チーム名：多摩若者会議

### (特徴)

多摩市の魅力の一つである、緑あふれる遊歩道や公園を内外の人々へ発信するための方策として、Google マップのストリートビューの活用を考案。Google のトレッカープログラムによって、市内全域の遊歩道や公園の撮影を行ったほか、大規模改修で閉館になった多摩市民に馴染み深い文化ホールのデジタルアーカイブを実施した。今後は、まちに隠された謎を解きながら、まち歩きが楽しめるアプリとの連動の検討も検討している。



### (アドバイス)

#### 1. 製作したコンテンツの市外への発信

本プロジェクトの目的である、市外の方々への多摩市内の住環境の魅力を発信する上でも、今回の取組で作成されたコンテンツを、いかに市外へ発信していくかの方策の検討も重要と考えます。まずは、ストリートビューを見てもらう「きっかけ」づくりの仕掛けが必要となるでしょう。昨年4月にオープンした「未知カフェ」を活用した取り組みなど、お持ちの資源や人的つながりを活用しながら、まずは試行的に様々な発信方策を実施してみることも有用と考えます。

また、市外へのアプローチの手がかりを探るために、まずは、多摩市内に引っ越してきたばかりの大学生や若年層の家族、単身者などへのヒアリングの実施や巻き込みを図ってはいかがでしょうか。なぜ多摩市に引っ越してきたのか、困っていることや、生活を始めるにあたり不足している情報はないかなどを把握することによって、今後の市外発信へのヒントを得られる可能性もあると考えています。このことは同時に今の市民にもより魅力のある街にしていく材料の一つとなるという副次効果も期待できます。

#### 2. 地域の方々を巻き込んだ発信コンテンツの拡充

撮影した遊歩道や公園、市の施設などの魅力を十分に伝えるためには、画像を補完する「ストーリー」の提供も有効ではないでしょうか。市民の方々はそれぞれの場所に、思い入れや、エピソードをお持ちでしょう。そういったストーリーを、撮影した映像の付加価値として配信することで、より印象深く伝えることができるのではないのでしょうか。今後の取り組みとして検討されている、まち歩きアプリとの連携の中で、市内に蓄積された、たくさんの方々のエピソードやまちの豆知識、歴史などをウェブサイト上で地図と連携させながらぜひ散りばめていただければと思います。

#### 3. 地元の大学生や店舗経営者らの巻き込み

ストリートビューや、まち歩きアプリなどをより多くの人に知ってもらうとともに、コンテンツ作りにも貢献してもらえるように、多摩市若者会議の枠組み外の方々の巻き込みも検討されてはいかがでしょうか。特に、市内の大学生や地域の商店関係者らとの連携は有用と考えます。多様な人材を巻き込みながら、ストリートビューやまち歩きアプリを使ってもらうきっかけづくりのための連携や、ストリートビューやアプリ利用に応じて市内で使えるクーポンの配布など、利用のインセンティブやモチベーションを設計するなどのペルソナ分析も有効かもしれません。

#### 4. 市役所への期待

多摩市若者会議を継続的に支援されている多摩市には、市内の企業や大学などとの連携を含め、引き続き多摩市若者会議への地域のつながりなどのサポートを期待しています。これまで以上に、市民との連携を進めていただき、COG を有効的に活用していただくことを期待します。